安心・安全な通学方法を

香美町香住区等再編検討について問う
再編検討委員会で示させてもらいます

森浦（もりうら） 繁（しげる） 議員

香美町香住区の小学生の通学方法は

佐津、柴山地区では、立って乗車することなく子供たちの安全を考えて全員が座れるように考えて欲しいとの意見について問う

長井地区では、スクールバスにして欲しいと言う意見が、出ましたが、町民バスでの保護者の了解は得られたのか

町長 佐津、柴山地区の小学生の通学方法は令和8年度の対象児童が52人のうち約半数が立って乗車しなければならない点について全員が着席できる方法を再検討し、2台体制による対応を検討することにしました。

令和8年度は佐津が1台柴山が1台というふうには乗車するとは出来ませんが、子供の人数が減り令和9度からは佐津と柴山に分れて乗車することが可能になります。

長井地区につきましては町民バスによる通学を一度了承していただきましたが、その後スクールバスに変更できないかという意見を頂き再検討しましたが、町民バスでの通学をお願いしたいと今現在考えております。

今年の改善を待っていたのに

なぜ見送りか。奥佐津・余部線の改善
運転手不足と利便性の格差の検討が必要です

谷口（たにぐち） 眞治（しんじ） 議員

地域公共交通は、住民の足であり、通学や通勤、買物、医療などなくてはならない乗り物である。とりわけ、運転免許証を持たない子どもや高齢者にとっては、移動の自由の保障そのものである。町民バスの関係であるが、町民バスの奥佐津・余部線デマンドの実証実験をやったが、本年10月からこの改正が見送られた。なぜ見送りになったのか。関係住民の期待を裏切ることにならないか。

町長 町民バス奥佐津・余部線のデマンド化について、実証実験を行い概ね良好な結果が得られたと感じています。しかし、近年のバス運転手不足が課題となり、令和8年4月の香住区小学校の第2次再編の通学方法が決定していません。町民バスを利用する場合、全但バスの運転手の確保が必要です。このことから、町民バス奥佐津・余部線のデマンド化に対応できるか、判断できない状況で、さらに、他の路線との利便性に大きな格差が生じないか、検討する必要があります。